

高梁市立西山小学校

児童生徒数 15名 ・学級数 3学級 ・教職員数 7名（平成26年7月22日現在）

○取組実践のキーワード

表現力（書くこと）の育成
学習習慣の確立

○標題（研究主題）

生き生きと表現する児童の育成 ～様式を明確化した授業を通して～
自ら学ぶ意欲と確かな学力の定着 ～ばっちりいきいきウィークの取組を通して～

○取組を始めた経緯

国語科の全国調査の結果から記述式問題において、「条件に応じて書くこと」に大きな課題があり、本校においても同様であった。また、中学校区での協議会において、中学校区共通の課題であることも確認した。

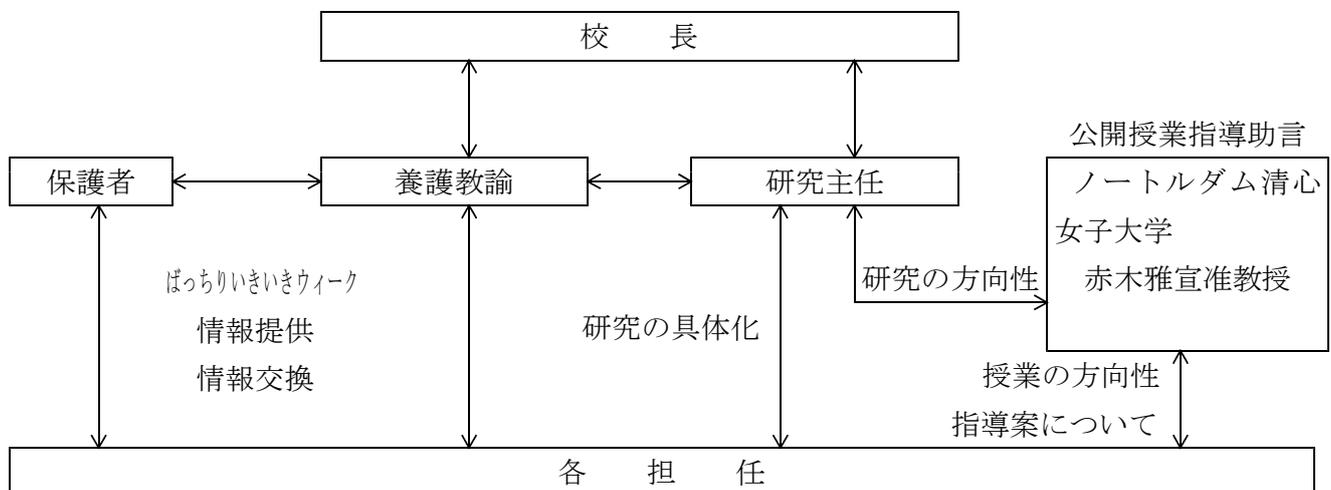
基礎知識はあるものの、問題の条件を変えられると何をどのようにすればよいのか分からなくなる児童の実態が見られる。授業において、考えたことを伝える場面を意図的に設定したり、目的や相手を意識した様々な条件を示したりと、表現方法を丁寧に指導する機会を積極的に取り入れる必要がある。

さらに、自校アンケートからも、国語の学習は好きだけれど、文章を書くことに対しては苦手意識が強いことが分かった。その理由として、「書きたいことはたくさんあるが、うまく書けない」「話すことはできるけれど文章に書けない」などの意見があった。

そこで、書くことの喜びや、自分の思いをしっかりと表現できたという達成感を味わわせ、それを学力として自覚させることで、書くことが「得意だ」「好きだ」と思える児童を育てていきたい。

また、昨年度まで、生活習慣を見直すことで、家庭学習習慣の定着のための学習時間を確保するなどの取組を続けてきた。今年度は、家庭学習の内容面でも充実を図り、一人一人に応じた家庭学習の在り方を考えていきたい。

○取組の実施体制



○学力向上に向けた具体的な取組

- ・国語科において、「書く」単元での公開授業を行い、講師を招聘して授業研究を行うことにより、日々の授業づくりに生かしていく。
 - 7月 3日 1年生「すきなもの なあに」
 - 10月 2日 3・4年生「仕事リーフレットを作ろう」
 - 1月22日 5・6年生「随筆を書こう」
- ・「ばっちりいきいきウィーク」の取組を月1回続け、家庭学習や生活習慣の改善に生かす。
- ・年度初めに「家庭学習の手引き」を作成し、学習時間の目安、学習の進め方など、全校で家庭学習の統一した方針を示し、保護者にも提示する。
- ・学級通信などで自主学習ノートの紹介を行い、その内容の充実を図る。

○現在までの取組の成果と課題

1 成果

現在までに1年生の国語科の公開授業を1回行った。現時点では子どもたちの変容を具体的なデータとして示すことはできないが、授業研究の話し合いでは授業に生かせるポイントを把握することができた。今後も授業研究を進めることで日々の授業改善に生かしたいと考える。

1年生の公開授業から学んだこと

☆マス目より罫線！

☆「まとめ」は分かりやすく具体的な言葉で

☆モデル文で、何をつかませるか、教材研究が大切

☆学んだことを〈国語のアイテム〉として積み重ねていけるような授業を

また、1学期末に家庭学習についての話し合いを行った。

1・2年生

自主学習は大変充実しているが、保護者の協力が必要である。

個人差はあるものの「学習の手引き」を保護者が見て、家庭学習の取組に生きている。

3・4年生

学校から帰ったら、すぐに宿題をするという習慣が身に付いてきている。

学習時間も確保できている。

5・6年生

自主学習は「1日1ページ」「丁寧に」「いろいろする」の3つの約束で進めてきたところ、内容が充実してきている。

「ばっちりいきいきウィーク」の結果からも、家庭学習の開始時間が定まってきており、全体的に学習時間が確保されてきているようである。

2 課題

平日の学習時間は確保され、内容も充実してきた。しかし、休日はほとんど学習していない児童が多

い実態が分かり、休日の過ごし方については今後の課題である。

今年度の岡山県学力・学習状況調査の結果から、国語、算数については県平均を上回り、国語の活用問題も良い結果であった。しかし、理科の活用問題については課題が見られた。昨年度までは算数、今年度は国語を中心に授業改善に取り組んでいるが、理科についても、学習到達度確認テストなどを活用して、学習に取り組む必要がある。

○取組の継続・発展の要因

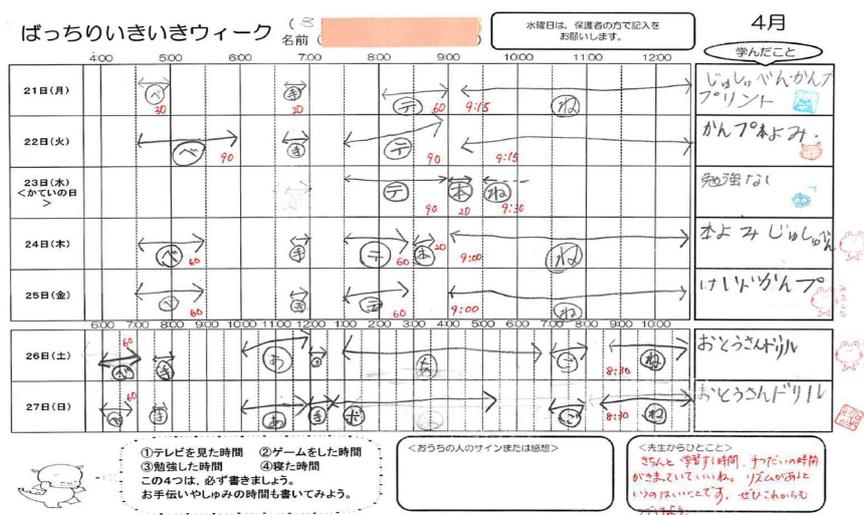
- ・早い段階での研究の方向性の決定
- ・公開授業による外部評価の機会の設定
- ・全員が公開授業を実施し、その成果を共有する機会を設定
- ・同僚性の向上

○管理職・中核教員等のアクション

- 研究の方向性の明確化
 - ・研究アドバイザーの依頼→外部講師（大学教員）との連携
- 中期的研究計画
 - ・中期計画に基づく研究の推進→3年計画の推進
 - ・系統的到達目標の設定→低・中・高ごとの重点目標の設定
- 教員の研究意欲の高揚
 - ・研究授業を通しての他校との交流→他校の教員からの意見、他校の実践を自校に
 - ・研究成果の可視化（見える化）→アンケート調査の比較
 - ・校内研修の工夫→課題解決集団へ

○その他の資料・写真等

ばっちりいきいきウィークの取組



家庭学習の手引き

